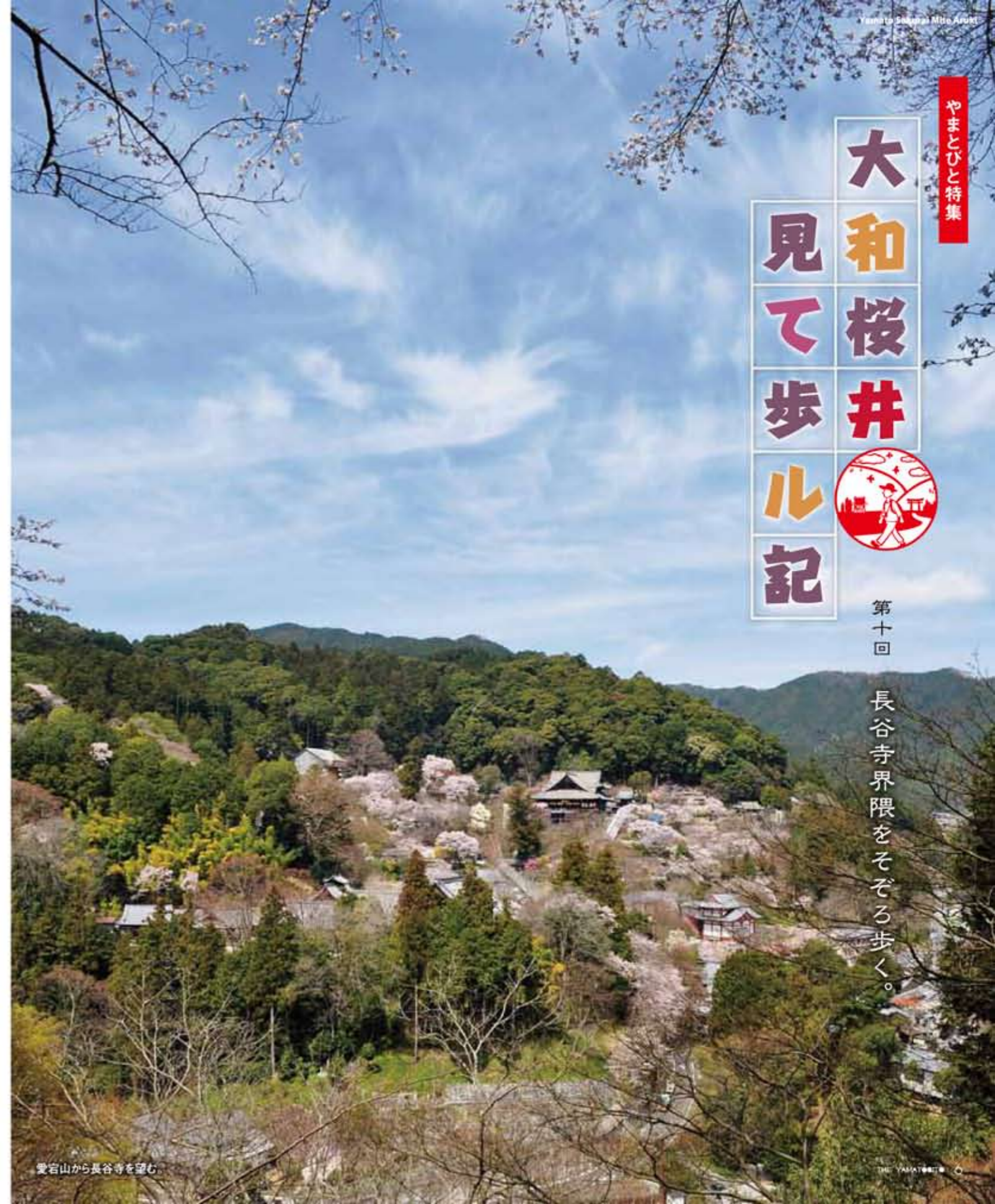


# 大和桜井 見て歩ル記



第十回 長谷寺界隈をそぞろ歩く。



愛宕山から長谷寺を望む



①長谷寺駅前

## こもりくの初瀬

近鉄長谷寺駅は山の中にある。県内屈指の標高にある駅といわれているだけあって暗れた空はちよっと近くに感じる。「初瀬」の枕詞に「隠り国」があるが、山深い地の代表のような場所、それがこの初瀬なのだ。長谷寺駅から初瀬の中心地までは下り坂である。観光地化されながらも程良く生活感のある道を進んでいくと道は国道と交差する。その向こうにある橋を「参急橋」という。

参急橋は、現在の近畿日本鉄道の前身である参宮急行電鉄が開通したとき、長谷寺駅と門前町をつなぐ橋として昭和の始めに完成した。電車を降りた長谷寺詣での人々が我先にお参りしたことからの名が付いたらしい。橋の上から東側を見ると朱色の太鼓橋が見えた。

太鼓橋の向こうは長谷山神社である。鳥居をくぐると素朴な階段が境内へと誘う。少し息を切らせながら上った先に本殿が祀られていた。ご祭神は大山祇神と手力雄神。延喜式の祝詞（祈年祭）に読まれる「山口に坐す皇神」の一社である。また、

元伊勢のひとつで「磯城伊豆加志（厳櫃）本宮」の伝承地でもあるという。この初瀬のまちは伊勢街道の要衝であることもあって古くから伊勢信仰があつたようだ。余所の地で祀られていた豊受神社の豊受姫神が明治時代後期に合祀されたことも伊勢信仰に基づくものなのかもしれない。ちなみに本殿の瓦の社紋は「下がり藤」だった。

## 生きている隔夜道

山口神社をお参り終わったら、元の通りに戻り街並みの建物見物しながら、ぶらりぶらり。

その途中に細い路地を見つけた。この道は「隔夜道」というそうだ。この小路が、実は長谷寺詣での古来の本道といわれていて、むしろ中世期まではこの道が栄えていたのだとか。隔夜道は、奈良と初瀬の隔夜堂

に一晚おきに泊り、一千日から一千五百日の間、往来する修行のときに通った道だという。長谷寺の隔夜堂は、当初は法起院にあつたものが、興喜天満神社境内の与喜寺を経て、長谷寺本堂の裏山へと至り、明治時

代後期に絶えたらしい。狭い路地を歩くのは、ちよっとした探検気分。おもしろそうなのでこちらを歩いてみる。

昭和の時代には、この道筋に「牡丹座」という劇場があつたのだとか。現在は、静かな生活道という風情だ。道はかくかくと曲がりながら進み、その途中に石打不動尊のお堂や道祖神を祀る祠があつた。やがてこの小道は崇蓮寺の前で途切れた。

まさにこのタイミングで、道の出口あたりに止めてあつた郵便カブが躊躇することなく隔夜道を走つていった。なるほど、かくして隔夜道は「道」として生き続けているんだな。崇蓮寺は浄土宗の寺院で、元亀三年（一五七二）に開山したといわれている。境内には芭蕉の句碑があり「春の夜や 籠り人ゆかし 堂の隅」と刻まれていた。





長谷寺の門前、「桜の馬場」周辺



⑦素盞雄神社

〈長谷寺周辺マップ〉



⑥連歌橋



長谷寺参道の街並み



④石打不動尊



⑤芭蕉の句碑



素盞雄神社から興喜天満神社への道



⑧興喜天満神社



⑨伊勢本街道の道標



②参急橋



③長谷山口神社

### 長谷寺門前界限

長谷寺門前周辺は、昔、桜の並木が有名で花の見所とされてきたそうだ。このあたりを「桜の馬場」というのは、参拝者がここに馬をつないでお参りや花見をしたことからきている。道沿いに流れる川は初瀬川である。

その流れの少し川上に朱色の橋がかかっている。この橋を「連歌橋」という。連歌橋は昔、太鼓橋だったらしい。かつて月一回、興喜天満神社境内の菅明院（現在は廃寺）で連歌会があり、長谷寺の僧侶がこの橋を通過してその会に参加したことからその名がついたのだそうだ。連歌は

室町時代から江戸時代末期にかけて行われ、長谷寺は国内でも有数の連歌が盛んな所だった。  
また、連歌橋の付近一帯は「源氏物語」玉鬘巻に出る「古河の野辺」と伝えられている。その玉鬘の庵の跡が連歌橋の近くにある。現在は竹やぶになってはいるが供養塔がその場所を顕彰している。庵は明治維新の時代に廃されたのだそうだ。

### 「ゴツテラはん」

さて、玉鬘庵からは少し後戻りするが、北へ少し入った所にイチヨウの巨木と神社が見えてくる。素盞雄神社である。イチヨウは県指定の天然記念物で樹齢は推定八百年なのだとか。近世には牛頭天王社と呼ばれていて「ゴツテラはん」という俗称（愛称？）もあるのだとか。そういえば拝殿の瓦の社紋は祇園守紋だ。境内の十三重塔は歌人の藤原家隆の供養のために建てられたもので「大和名所図会」には家隆墓とあるらしい。長谷寺の眺望も良い場所でもあるから、ちょっと一首ひねってみたら何かいいのができるかもしれない。

感修善に良き地なのでその峰に住むよう命じたため、天神は雷神と成って峰に降臨、与喜（興喜）大明神と称したといい、新地主神と称した」とあるそうだ。

元来、この初瀬の地には自然神としての天神信仰が根強くあったらしい。ある書によると、一般に「天神信仰は菅原道真を祀る天満天神信仰へと発展し、平安末期には天満天神の本地を観音とする思想が流布していた」から、「長谷寺が本尊の十一面観音の化身として、また寺の地主神として雷神信仰にも適合した形で（興喜天神を）奉斎したものだろう」としている。

確かに立派で力強い雰囲気の本殿からは、どこか神仏が習合していた往時の時勢を感じる。きっと男性的な「つよい」神さまがおられるに違いない。

興喜天満神社の表参道の坂を下り鳥居の外に出た。その一步を踏んだ道がまさに伊勢街道である。この道は長谷寺界限を囲むように続く南の山の方へのびているので、長谷寺の眺望を期待しつつ道を進んでいく。この坂を化粧坂という。また、特に

### 初瀬の天神さん

興喜天満神社は、菅原道真を主祭神として祀る神社である。「長谷寺霊験記」には「天慶九年（九四六）、天満天神の化身神殿太夫武鷹が長谷の滝蔵権現社・観音堂に参詣したところ、滝蔵権現が伽藍の守護を天満天神に譲り、東の因曼茶羅の峰は断

素盞雄神社や玉鬘庵跡から続く坂道（山道？）は、そのまま興喜天満神社へと続いているのでお参りすることにする。土の道だが荒れたところのない参道は、直に境内へとつながっていた。こちらは裏参道だったらしい。

# 音楽の ふるさとを 訪ねて

文 堀内 みさ  
写真 堀内 昭彦

## — 奈良から日本音楽の旅に出る — 第一回 プロローグ

川のせせらぎ、鳥の声。早朝のきりりと澄み切った空気が、半分眠っている体を少しずつ目覚めさせていく。

奈良・桜井市にある初瀬山。その山に抱かれるように伽藍が広がる長谷寺の、三九九段の登廊を、息を切らしながら上っていく。目指すのは、ご本堂で行われる朝の勤行。修行僧たちが唱える声明（しょうめい）を聞くためだ。

声明とは、仏教の伝統的儀式で僧侶が唱える声楽曲のこと。ご本尊や諸仏、諸菩薩を唱えたり、それぞれ徳を称えたりする、いわば「讃歌」である。宗派や法要によつて内容はさまざまだが、中にはつい口ずさみたくなるほど、わらべ歌のように親しみやすい節回りのものもある。

五年前までの自分だったら、声明を聞きに、わざわざ早朝一時間かけて山寺に来るなど、発想すらしなかっただろう。なにせ、音楽といえば西洋音楽と、一〇〇パーセント思い込んできたのだから。

私事で恐縮だが、実はこれまで、ずっと西洋音楽を追いかけてきた。幼少からピアノを習い、弾くのも聞くのも西洋音楽。そんな暮らしをごく当然のように送ってきた。

特に文章を書くようになってからは、やはり西洋音楽をこよなく愛する写真家の夫と、さまざまな作曲家ゆかりの地を訪ね、その地の風土、空気を感ぜながら、そこで生まれた楽曲を聴くという体験を、音楽雑誌の連載という形で綴ってきた。つまり音楽（西洋音楽）は、私たちにとって身近で親しく、また、ときに折れそうになる心の

拠り所、とでもいうべき存在であり続けてきたのだ。

もつとも、それは「いい」音楽と出逢ったときの話である。「いい」音楽とは、作曲家と演奏者それぞれが、自分の持てる技を尽くし、全身全霊で打ち込んだ作品とも言い換えられる。だが、これが難しい。西洋音楽には五線譜があるからだ。楽譜は作曲家と演奏者をつなぐ唯一のツールだが、所詮単なる記号でしかない。その記号、すなわちただの音符の連なりを、魂の入った音楽へと昇華させるには、演奏者の深い読解力と修練を積んだ技術力が必要になる。つまり、残された音符から作曲家の想い、言葉、そして余情までも汲み取り、表現されてはじめて、音楽は立ち現れるものなのだ。

ほんくら  
味

自慢

68

## 高畑 まんま亭

のどかな風景が広がる奈良市高畑町の一角、新薬師寺の東隣にある「まんま亭」は平成十二年にオープンしたカレー専門店である。

オーナーの石津佳也さん、恵美子さん夫妻は奈良県が認定する初代「奈良の自転車名人」に選ばれるほど大の自転車好きで、ご主人は「まんまさん」、奥さんは「まんまママ」と呼ばれ親しまれている。休日には遠方からも多くの自転車愛好家が訪れる「自転車乗りのオアシス」的存在である。

まんま亭のカレーの特徴を尋ねると「特にスープにはこだわっています」と、まんまママ。

カレーの味の決め手になるスープは鶏ガラや豚骨をベースに野菜や果物を加え、長時間じっくり煮出されている。そのスープに各種スパイスを混ぜ合わせ出来上がったカレーは、コクと旨みがありながらマイルドであっさりしていて、年配の方からお子様まで幅広い世代に好かれる優しい味だ。

メニューはビーフ、チキン、ハンバーグ、エビの4種類。それぞれ下ごしらえから全てお店の手作りである。チキンカレーは骨付きの鶏もも肉をタンドリー風スパイスにつけ込み、丸一日煮込んでいるので、スプーンで肉がほぐれるほど柔らかい。

また、まんま亭では食材を新鮮な状態でお届けするカレーの宅配サービスも行っている。

近年はお店を経営する傍ら、ご夫婦で自転車専門のインターネットラジオへの出演、全日本実業団自転車競技連盟のレースでの活動、県内外のイベントや講習会への参加等々、精

力的に活動されている。

しかし、あくまでも拠点はまんま亭であり、ここから地元奈良の良さ、自転車の楽しさを発信していくことが、まんまさん夫妻のライフワークである。

「地域密着型というよりは、人密着型のお店です」という言葉の通り、我が家に帰ってくるかのようにまんま亭を訪れるリピーターさんがたくさんいらっしゃるようだ。

初めてご来店の方もアットホームな雰囲気とお二人の気さくな人柄にふれて「まんまファミリー」の一員になるにちがいない。

「カレーはみんなの補給食」を合言葉に、今日もサイクリストたちが美味しいカレーと元気を補給しに、まんま亭に集まる。



まんま亭イチオシのチキンカレーと自家製のジンジャーエール



●お問い合わせ  
「高畑 まんま亭」  
奈良県奈良市高畑町464  
TEL.0742-24-3641  
営業時間:11:30~16:30  
定休日:不定休



まんまママ、愛車と。

# やまとのこころ

— 其ノ四十八 — 天忠組雜記 (VII)

春日大社権宮司 岡本 彰夫

## 神風館 (三)

金沢昇平

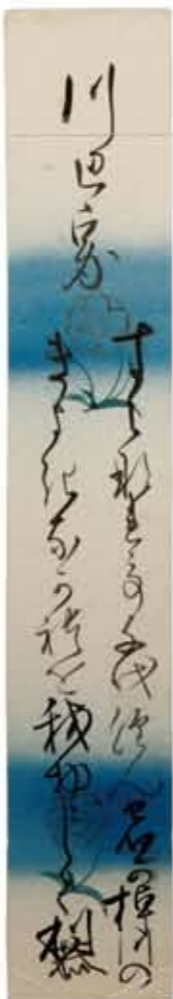
昇平、始め治助と云ひ、利恭と称す。昇平は明治後の改名にして南峯はその号也。好学にして略実践あり。青年の頃、伴林光平の門に入りて歌道国学を修む。その頃述懐の心を詠める歌に曰く、

よしあしとがなきことをいひはやす

世人の口に閑守もがな

当時は奈良油留木に住して奉行所附属の郷宿業・納屋六の筆耕たり。明治四年に奈良に於ける新聞の濫觴「日新記聞」を創刊、本局を自宅に設く。同十年、大和行幸の当時は聖武天皇陵守衛長格として不眠不休御用に没頭せり。十六年、居を池之町に移す。昇平いたく松を愛して庭前は勿論盆栽に至るまで、総て松のみを培養せりといふ。この頃より「平城坊目考」校註の志あり。坊目考は寛政年代の人、坤井堂久世宵瑞の遺著にして、奈良旧都の名勝史跡、興亡沿革を探るに最も便也。然るに久しく転輾筆写され来るうちに、誤謬脱落、あるひは後人の書入等多く、錯乱を極む。昇平之を嘆惜して校正補註の筆を執り、遂に二十三年に至つて「平城坊目考、同遺考、並附録」全六冊を刊行世に公にせり。此間、資料の閲覧蒐集にあたりては多方面にわたると雖も、多くは同門橋本政孝收藏の文献に因れりといふ。他に「奈良名勝袖鑑」等故都の風景文物を紹介せる著作もあり。晩年の頃、倉田熱血の編纂になる「大和人物評論」第一輯に、伴林光平伝を取むるにあたりては昇平最も与つ

川辺家 すみなれて 千代経ん宿の 棹川の  
きよきなかれを 我物にして (利恭)



鹿 夕月の 高円山や しくるらん  
あらしにさそふ 棹鹿の声 (昇平)



て力あり。発刊に際し序文と共に国風一首を寄す。  
竹の葉の雨さく窓によむ文の  
中にも千代の友はありけり

昇平、先師光平を追慕するの情深く、その事跡を顕彰せむと欲して、熱血と共に建碑を計りたるも、遂に念願を果さずして歿しぬ(年齢未詳)。時に明治二十六年十二月十九日。佐保山興福院に葬る。(注)文政十年生 享年六十六歳)

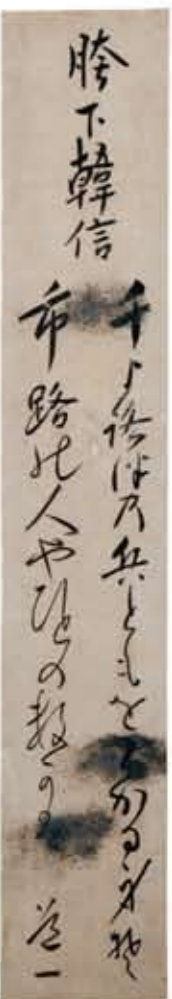
いく千代も なかき根さしを 祝ふなり  
かほるあやめや 蓮生の宿 (春翠)



古寺秋 さひしきは なほ身にしみて 鐘の音の  
年ふる寺の 秋のゆふ暮 (七十三叟 豊廣)



膝下韓信 千よろつの 兵ともを ○かる身そ  
市路の人や ひとの教かは (道一)



## 宮崎豊広

豊広、春翠と号す。南都大乗院の家臣也。光平の門に入りて和歌を修む。また四条風の画を能くしその画くところしばし国風を題す。専ら能楽を好みて金春流を学び、殊に脇方の技に習熟して例年春日祭後日能に出仕せりといふ。晩年は御所の馬場に住して子弟に謡曲を教授の傍ら画事に励む。理財の念に淡く常に窮乏に甘んず。妻に死別後は、表の間を人に貸し、自らは奥に住ひて、その部屋代を以て纒に糊口の足しとなしたるほどなれど、風骨悠揚として白髭は胸にあまり、おのづから大老の風ありきといふ。大正八年石崎勝蔵の尚園会にて、

七十ぢは事なく過ぎてけふよりは

ゆたかにこゆる千代の万津波

と詠めるは八十五翁の夏なりき。後いくほどもなく歿しぬと聞けど未だ詳ならず。嘗て春日神社の神器を写せる画、今なほ同神社に蔵せられ、他に自画自賛の短冊等若干世に伝はる。

明治己亥歳勅題田家煙之図に

門田守る賤がふせ屋にあらたまの

としゆたけくも立つけぶりかな

## 斎藤道一

道一は京師の人にして画工也。榮亭と号す。嘉永年間より奈良奉行所の与力、橋本政孝の住居なる五軒屋敷内に滞留し、後遂に奈良の地に定住するに至りぬ。政孝と共に光平に就きて歌道を修む。歌会席上寄書のをりには屢々その絵筆を揮ふ。光平の歌に、



暖炉のあるリビングルーム



取材時展示されていたお正月飾り

# 楽

RAKU

## ウィリアム・メレル・ヴォーリズの心

今を生きる日本人にとって、必要なもの。幸せとは…。  
日本人を愛した、ウィリアム・メレル・ヴォーリズの足跡を辿り  
本来あるべき人の営みとは何かを考える。

### 第15回 安土地域に残るヴォーリズ建築②

#### 旧伊庭家住宅の魅力

近江八幡市安土町観光協会局長(オレガノ副代表)

城念 久子

私は、個人的に初釜や研修会などいろいろなシーンでこの施設とは以前から関わりを持っていました。

「オレガノ」のメンバーとして常時公開までに庭整備、建物の大掃除、小物の飾りつけなど、お客様のおもてなし準備を進めてきますと、私を含めメンバーそれぞれが建物の魅力というより魔力(?)

を感じるようになりました。人とひとが関わり、眠っていた建物がいきいきとし、二度目の目覚めでしょうか。

よくいわれるヴォーリズ建築の通気性の良さや光と風を心地よく受け、ポランティア活動しながら心を癒されるようです。「人の住居は、その人を現す」ともいいます。やさしさに包まれています。

何といっても、一階暖炉のお部屋は素敵な空間で、その当時のままの椅子に座れば静かで至福の時間が流れます。暖炉の床のタイルは量産できない頃のタイルが敷いてあり、通にはたまらないスポットです。洋館が建てられるときには、最初に暖炉の場所を決められるそうです。家族みんなが集まる大切な場所、居間が出

来て初めてホームになります。ヴォーリズ建築には珍しく和洋折衷で簡素ではありますが、素材に凝ったりデザインがおりしやれだったりとなかなか見ごたえのある施設です。家は人格形成の基礎づくりの場であり、ヴォーリズの言葉に「建物は、人間を感化する」とあるように正しく「住育」を感じます。



暖炉の上にも手作りの作品が並ぶ。  
足下には色彩豊かなタイルが敷かれている。

# 山気 佳日々

さんけいじつゆう

26 釈迦ヶ岳

文・イラスト 橋尾歌子



▲登山口は前鬼の宿坊から。見たことのない黄色い花が咲き、甘い香りが立ちこめていた。

昨日の昼間、嵐のような雨が降り、麓から見た大峰の稜線には雪雲があった。明日はどうなるのだろうかと思っていたけれど、今日の北山川ぞいの国道一六九号線は暖かい日に照らされ、桜の花が満開だった。桜の花はまわりの景色を普段よりも明るく、温かい気持ちにさせてくれる。よくぞあの風雨に耐えたものだ。

林道終点から歩き始め、前鬼ぜんきの宿坊、小仲坊が近づくにつれ、林道横の馬酔木の花が増え始める。小仲坊の建物の周りには黄色い花が満開で、甘い香りが立ち込める。初めてみるこの花は何だろう。木々には新芽が出て、遠くに見える山はうっすらとピンク色に染まって見える。

宿泊所とお堂の間から登山道が始まり、杉林の中を歩いた。石畳の登山道の途中に、かつての宿坊跡や、

ロヤシオだろうか。初夏には白く可憐な花が見られるのだろう。シロヤシオの花ことばは「愛の喜び」だそうだ。

太古の辻から北に向かう。周りの木々にうっすらと樹氷がついていた。大日岳への分岐を過ぎると、目の前に釈迦ヶ岳が見えた。その山肌は白く、麓で見た満開の桜を思わせた。

釈迦ヶ岳南の鞍部、深仙の宿やどに着く。その場所は、大峰を開山したまこと役行者が深い瞑想を行った場所で、灌頂堂と避難小屋が建つ。

大峰は奥駆の修験者や登山者のために避難小屋が整備され、ログハウス風のきれいなものもあるが、ここにある小屋は昔ながらの古い建物だ。中には囲炉裏が組んであった。

少し離れた所にある灌頂堂の正面に、護摩壇があり、入り口を開けると役行者や仏像が祀られていた。お堂内部に書きものがあり、このお堂内部で宿泊することはできないが、修験者はお通夜をすることができる。とある。

灌頂堂の縁台で、上北山村のゐざさ寿司で詰めてもらった寿司折りを

石仏、小さな祠がある。二頭の鹿が白いお尻を見せ、キョンと語尾をあげて叫びながら走り去り、森の中からは色んな鳥の声が聞える。

やがて杉の木々が減り、ブナやミズナラの生える谷筋の森を歩く。「山と高原地図」に大きな二本のトチノキがあると書いてあるが、トチノキはどれもこれも大きく、二本どころではない。

途中苔むしたブナの木の横で休んだ。出発しようとする足元に大量の鹿の糞が散乱しているのが見えた。一休みしたい場所は人間も鹿も同じなのかもしれないと思った。緑色の苔に覆われた倒木の間で、小さな生

き物が動き、じっと見ていると、体のわりに大きな尻尾を持ったリスが素早く走った。

涸れ沢を二度ほど渡り、木の階段を登っていくと両童子岩に着いた。荷物を置いてふたつの岩の間に立つと、釈迦ヶ岳から孔雀岳への稜線はまだ白い。稜線から谷に落ちる尾根には五百羅漢をはじめとする険しい岩稜帯が見えた。

鎖が設置された涸れ沢、熊の水場を横切ると、傾斜が増す。登山道まわりの笹原には雪が残っていた。

稜線の「太古の辻」は西側からの風が吹き抜けていた。稜線直下の笹原に立つ花も葉も落とした木々はシ

コース番号 B-0524



神武東征の道を行く  
古事記・日本書紀の舞台  
「神武東征」ゆかりの地を巡ります。  
やまとびとツアーズならではのプランも満載。

バスツアー  
日帰り昼食付

日程：2014年5月24日(土)  
※集合：近鉄奈良駅、JR奈良駅

料金：お一人様 8,800円  
※行程内交通費、昼食代、拝観料、保険料、消費税込

定員：20名(最少催行人数10名)

スケジュール：  
近鉄奈良駅・JR奈良駅など(8~9時頃)→宇太水分神社(特別参拝)  
→カエデの郷ひらら→ご昼食→桜実神社→丹生川上神社→八咫鳥神社→近鉄奈良駅・JR奈良駅など(17~18時頃)

コース番号 B-0608



バスツアー  
日帰り昼食付

談山神社 縁結びの神様・鏡女王祭と  
十三重塔初層内陣特別公開ツアー  
●昨年ご好評いただいた「談山神社鏡女王祭参列ツアー」  
●今年も談山神社にて正式参拝、十三重塔初層内陣特別公開をしていただき、鏡女王祭に参列。ご昼食は談山神社社務所にて、直会に同席させていただきます。

●石位寺から忍阪地区は、ボランティアガイドの案内付き。

日程：2014年6月8日(日)  
※集合：近鉄奈良駅、JR奈良駅

料金：お一人様 8,600円  
※行程内交通費、昼食代、拝観料、保険料、消費税込

定員：28名(最少催行人数20名)

●吉野発着のプランもございます。吉野発着や吉野宿泊をご希望の方は、吉野ビジターズビューロー(問い合わせ先：0746-34-2522)まで。

スケジュール：  
近鉄奈良駅・JR奈良駅など(8時頃)→JR・近鉄桜井駅(9時頃)→談山神社正式参拝、十三重塔初層内陣特別公開→鏡女王祭参列→ご昼食→石位寺→忍阪地区散策→JR・近鉄桜井駅(16時半頃)→近鉄奈良駅・JR奈良駅など(17時半頃)



やまとびとのところ店には、この暖簾が!

毎月18日  
観音様の日

# わらしべ長者物語暖簾街道 はじまります!

やまとびとのところ店は、真言宗豊山派の総本山である長谷寺の参道にあります。長谷寺は西国三十三所観音霊場の第八番札所であり、日本でも有数の観音霊場として知られています。また、昔話「わらしべ長者」の観音様が長谷寺の観音様と言われていることを活かし、この物語を活かした町づくりを地域が一体となって行おうというこ

とになりました。毎月、十八日の観音様の日に、町並みは「わらしべ長者」の物語の暖簾や観音様の黄金色を模した「山吹色ののぼり旗」で飾られます。門前町の景観、この町の歴史的資産、文化的資産、営みを発信しコミュニティの活性化を図っていきたくと考えています。



Free Paper YAMATOBITO  
CONCEPT SHOP  
大和 隴國の里  
やまとびとのところ店  
営業時間 10:00~17:00  
定休日 火・水曜日  
(祝日の場合は営業いたします)  
〒633-0112 奈良県桜井市初瀬830番地  
TEL.0744-55-2221  
FAX.0744-55-0480  
e-mail shop@yamatobito.net  
http://www.yamatobito.net



お車で越しの際は  
スタッフにお声がけ  
ください。

観音堂  
法起院  
井谷屋  
駐車場：2台

やまとびとのところ店  
長谷寺参道筋



やまとびとの  
ここころ店通信

春限定商品が揃いました。



手作り吉野の葛餅



抹茶パニラの和風パフェ

桜の便りが各地から届き、やまとびとのところ店のある長谷寺も今年は大天候に恵まれ、「花の御寺」にふさわしく素晴らしい景色でした。訪れたお客様からも「良かったよー。来て良かった」と感嘆の声をいただきました。さて、このころ店も春も迎え、「やまとびとカフェ」のメニューも、冬から夏メニューに変わります。昨年好評をいただきました「和風パフェ」、数量限定の「手づくり葛餅」も間もなくお目見えです。長谷寺にお越しの際は、ゆったりとした時間と共に楽しんでください。



消費税率8%、原料高騰に伴う価格改定のお知らせ  
やまとびとのところ店では、やまとびとのところ館を従来一袋350円(税込)のところ税抜き361円(税込390円)、女夫饅頭を従来380円(税込)のところ税抜き

380円(税込410円)に変更させていただきます。  
お客様には申し訳ございませんが、ご理解の程、よろしくお願ひ申し上げます。



# 村コンツアー、山登り、猟師体験、お寺巡りなど

# 初夏の奈良を満喫できるツアーが満載!

コース番号 G-0518 主催：葛城市



親子で楽しく濃い思い出づくり  
奈良葛城体験バスツアー

●牛の乳しぼり、アイスクリームづくり、写仏、相模などいろいろな体験ができるモニターツアーです。

日程：2014年5月18日(日) ※集合：JR大阪駅 対象：小学生と保護者 ●募集締切日：5月8日

モニター価格 お一人様大人 6,800円 お子様 6,000円

※行程内交通費、入館料、体験料、昼食代、保険料、消費税込  
※集合場所までの交通費は含まれていません。  
※大人の方の写仏の料金は含まれていません。  
(大人の方も体験される場合は1,500円の追加料金が必要です。)  
※必ず保護者同伴でご参加ください。

バスツアー 日帰り昼食付(お弁当)

定員：20名(最少催行人数16名)

スケジュール：  
8:30~9:00 葛城C→ラッテたかまつ(アイスクリーム作り・乳搾り・昼食[弁当])  
→葛城C(写仏体験)→相模館けはや(相模体験)→ふたかみパーク(写仏体験)→葛城の家(おみやげ・トイレ体験)→18:00~18:30 葛城C JR大阪駅

コース番号 B-0619 主催：上北山村



「おふさ観音ハラまつり」と  
「ムジークフェストなら  
當麻寺奥院コンサート」

●當麻寺奥院で尺八と箏によるコンサート、ムジークフェストなら「いにしへの楽器に想いをのせて〜浄土の里」にご参加いただけます。  
●音楽の神様としても知られる笛吹神社へご参拝。

日程：2014年6月19日(木) ※集合：近鉄奈良駅、JR奈良駅、大和八木駅

料金：お一人様 8,000円 ※行程内交通費、昼食代、拝観料、保険料、消費税込

バスツアー 日帰り昼食付

定員：20名(最少催行人数20名)

スケジュール：  
近鉄奈良駅・JR奈良駅など(8時頃)→大和八木駅→おふさ観音→當麻寺中之坊(拝観)→昼食(精進料理)→當麻寺奥院(コンサート、拝観)→笛吹神社→大和八木駅→近鉄奈良駅・JR奈良駅(18時頃)

コース番号 G-0802 主催：葛城市



夏休み宿題応援!  
親子いっしょに思い出づくり

●山麓公園の長いローラーすべり台で思いっきり体を動かそう!  
●夏休み限定の陶芸体験。夏休みの宿題にもなるかも!?  
●まわしをしながら本物の土俵で相模、塩漬き体験。

日程：2014年8月2日(土) ※集合：JR大阪駅 対象：小学生と保護者

モニター価格 お一人様大人 5,000円 お子様 3,300円

※行程内交通費、入館料、体験料、昼食代、保険料、消費税込  
※二人目以降のお子様、もしくは大人の方で陶芸体験をされる場合、一名につき別途1,500円の追加料金が必要となります。  
※陶芸作品は後日発送します。(別途送料が必要となります)  
※必ず保護者同伴でご参加ください。

バスツアー 日帰り昼食付

定員：20名(最少催行人数15名)

スケジュール：  
8:30 JR大阪駅→9:30 葛城C→9:50 葛城山麓公園(自由行動)→9:50 葛城山麓公園(自由行動)  
→11:00 ラッテたかまつ(陶芸体験、昼食・自家製アイス付き)→13:30 當麻寺(自由拝観)  
→14:40 相模館けはや(相模体験)→15:40 當麻寺奥院周辺散策→16:20 當麻の家(おみやげ・トイレ体験)→16:50 柏原C→18:30 JR大阪駅

コース番号 K-0705 主催：上北山村



「田舎へ帰ろう!」  
奥吉野上北山村でのんびりふるさと体験  
二百年以上続く歴史ある  
伝統行事 虫送りツアー

●「おふさ観音」が迎えてくれる、やすらぎの宿にて宿泊

日程：2014年7月5日(土)~7月6日(日) ※集合：JR大阪駅、近鉄権原神宮前駅

料金：お一人様大人 12,000円 お子様 9,700円

バスツアー 日帰り昼食付

定員：20名(最少催行人数16名)

※行程内交通費、宿泊費、体験料、昼食費、小処温泉入浴料、保険料、消費税込  
※大人の方の割り箸作りと一本足たたら作り体験料は含まれていません。

スケジュール：  
【1日目】7:30 JR大阪駅発→8:20 近鉄権原神宮前駅→上北山村西原にて松明作り体験&ご昼食→割り箸作り体験→小処温泉にてご入浴&夕食→上北山村西原にて虫送り→民宿宿泊  
【2日目】朝食→和佐又山ヒュッテへ移動→和佐又山探索→一本足たたら作り体験→和佐又山ヒュッテにてご昼食・ピザ作り体験→16:30 近鉄権原神宮前駅→17:30 葛城C JR大阪駅解散予定

コース番号 K-0622 主催：上北山村



猟師のお仕事をのぞき見  
猟師体験ツアー

●上北山村特産加工センターにて猟師の仕事を見学します。  
●神聖な猟場にてワナ猟がどのように行われているか学びます。  
●自分で解体したお肉をその場でパキキューにてご試食いただけます。

バスツアー 日帰り昼食付

日程：2014年6月22日(日) ※集合：近鉄奈良駅、JR奈良駅

料金：お一人様 9,300円 ※行程内交通費、体験料、小処温泉入浴料、昼食代、保険料、消費税込

バスツアー 日帰り昼食付

定員：20名(最少催行人数16名)

●募集締切日：6月15日

スケジュール：  
7:40 JR大阪駅発→8:30 近鉄権原神宮前駅→上北山村特産加工センターにて説明→ワナ猟見学→ご昼食→解体体験→小処温泉→19:00頃 近鉄権原神宮前駅→20:00頃 JR大阪駅解散予定

コース番号 K-0531 主催：上北山村



近畿最高峰の山、八経ヶ岳に挑戦!

大台ヶ原が見える絶景地「又鶴山」と近畿最高峰「弥山」八経ヶ岳にアタックします。

難易度★★★★☆  
体力度★★★★☆

1日目：歩行距離約4km 高低差300m 標高1,377m  
2日目：歩行距離約9.4km 高低差820m 標高1,914.8m

バスツアー 1泊2日バスツアー 日帰り昼食付(お弁当) 朝食1回 夕食1回

日程：2014年5月31日(土)~6月1日(日) ※集合：JR大阪駅、近鉄権原神宮前駅

料金：お一人様 18,700円 ※行程内交通費、宿泊費、昼食代、小処温泉入浴料、上北山村温泉入浴料、保険料、消費税込 ※村内民宿にて個室をご希望の場合、別途追加料金が必要です。

バスツアー 日帰り昼食付

定員：20名(最少催行人数16名)

山歩き中級~上級者向けのツアーです。  
●募集締切日：5月24日

スケジュール：  
【1日目】7:30 JR大阪駅→8:20 近鉄権原神宮前駅→展望台→又鶴山(約2.5時間)→小処温泉→道の駅吉野路上北山→村内民宿泊  
【2日目】6:30 村内民宿出発→弥山→八経ヶ岳(約7時間)→上北山村温泉、道の駅吉野路上北山→17:40 近鉄権原神宮前駅→18:30 葛城C JR大阪駅解散予定 (行程内記号 一徒歩 ==バス)

コース番号 K-0518 主催：上北山村



山の幸を摘み採って、  
あなたに素敵な幸あれ! 第2回村コンツアー in 上北山村

●前回の村コンではめでたく1組のカップルが誕生!  
●大自然の中で山菜だけじゃなく、新しい恋も摘み採ってみませんか?  
●昼食は採りたての山菜の天ぷらやBBQでワイワイ盛り上がる!

バスツアー 日帰り昼食付

日程：2014年5月18日(土) ※集合：JR大阪駅、近鉄権原神宮前駅

料金：お一人様 7,500円 ※行程内交通費、昼食代、体験料、保険料、消費税込

バスツアー 日帰り昼食付

定員：20名(最少催行人数16名)

参加条件：20代~40代の独身の方に限ります。(1人でも複数人での参加もOKです。)  
●募集締切日：5月11日

スケジュール：  
7:30 JR大阪駅発→8:20 近鉄権原神宮前駅→山菜採り会場&自己紹介タイム→山菜採り(約1時間半)→和佐又山ヒュッテにてご昼食(約1時間半)→トーク&フリータイム(約1時間半)→17:50 葛城C 近鉄権原神宮前駅→18:40 葛城C JR大阪駅解散予定 (行程内記号 一徒歩 ==バス)

コース番号 K-0622 主催：上北山村



猟師のお仕事をのぞき見  
猟師体験ツアー

●上北山村特産加工センターにて猟師の仕事を見学します。  
●神聖な猟場にてワナ猟がどのように行われているか学びます。  
●自分で解体したお肉をその場でパキキューにてご試食いただけます。

バスツアー 日帰り昼食付

日程：2014年6月22日(日) ※集合：近鉄奈良駅、JR奈良駅

料金：お一人様 9,300円 ※行程内交通費、体験料、小処温泉入浴料、昼食代、保険料、消費税込

バスツアー 日帰り昼食付


定員：20名(最少催行人数16名)

●募集締切日：6月15日

スケジュール：  
7:40 JR大阪駅発→8:30 近鉄権原神宮前駅→上北山村特産加工センターにて説明→ワナ猟見学→ご昼食→解体体験→小処温泉→19:00頃 近鉄権原神宮前駅→20:00頃 JR大阪駅解散予定

※ワナ猟を見に行く際に山道を通ります。動きやすく、汚れても良い服装をお願いします。  
※上北山村は都市部より気温が低めです。十分な体温調整のための服装をご準備ください。  
※当日の交通状況、天候などにより、行程を変更する場合がございますので、ご了承ください。

コース番号 K-0531 主催：上北山村



近畿最高峰の山、八経ヶ岳に挑戦!

大台ヶ原が見える絶景地「又鶴山」と近畿最高峰「弥山」八経ヶ岳にアタックします。

難易度★★★★☆  
体力度★★★★☆

1日目：歩行距離約4km 高低差300m 標高1,377m  
2日目：歩行距離約9.4km 高低差820m 標高1,914.8m

バスツアー 1泊2日バスツアー 日帰り昼食付(お弁当) 朝食1回 夕食1回

日程：2014年5月31日(土)~6月1日(日) ※集合：JR大阪駅、近鉄権原神宮前駅

料金：お一人様 18,700円 ※行程内交通費、宿泊費、昼食代、小処温泉入浴料、上北山村温泉入浴料、保険料、消費税込 ※村内民宿にて個室をご希望の場合、別途追加料金が必要です。

バスツアー 日帰り昼食付


定員：20名(最少催行人数16名)

山歩き中級~上級者向けのツアーです。  
●募集締切日：5月24日

スケジュール：  
【1日目】7:30 JR大阪駅→8:20 近鉄権原神宮前駅→展望台→又鶴山(約2.5時間)→小処温泉→道の駅吉野路上北山→村内民宿泊  
【2日目】6:30 村内民宿出発→弥山→八経ヶ岳(約7時間)→上北山村温泉、道の駅吉野路上北山→17:40 近鉄権原神宮前駅→18:30 葛城C JR大阪駅解散予定 (行程内記号 一徒歩 ==バス)

持ち物例：リュック、登山靴、カップ、替替え、飲料、タオル、杖、鉛筆  
※行程先は平野部より10℃ほど気温が低めですので、十分な体温調整のための服装を各自ご準備下さい。  
※村内民宿での宿泊は人数によっては相部屋になる可能性があります。予めご了承の上、お申込み下さい。

コース番号 K-0518 主催：上北山村



山の幸を摘み採って、  
あなたに素敵な幸あれ! 第2回村コンツアー in 上北山村

●前回の村コンではめでたく1組のカップルが誕生!  
●大自然の中で山菜だけじゃなく、新しい恋も摘み採ってみませんか?  
●昼食は採りたての山菜の天ぷらやBBQでワイワイ盛り上がる!

バスツアー 日帰り昼食付

日程：2014年5月18日(土) ※集合：JR大阪駅、近鉄権原神宮前駅

料金：お一人様 7,500円 ※行程内交通費、昼食代、体験料、保険料、消費税込

バスツアー 日帰り昼食付

定員：20名(最少催行人数16名)

参加条件：20代~40代の独身の方に限ります。(1人でも複数人での参加もOKです。)  
●募集締切日：5月11日

スケジュール：  
7:30 JR大阪駅発→8:20 近鉄権原神宮前駅→山菜採り会場&自己紹介タイム→山菜採り(約1時間半)→和佐又山ヒュッテにてご昼食(約1時間半)→トーク&フリータイム(約1時間半)→17:50 葛城C 近鉄権原神宮前駅→18:40 葛城C JR大阪駅解散予定 (行程内記号 一徒歩 ==バス)

行程先は平野部より約10℃ほど気温が低めです。十分な体温調整のための服装をご準備ください。

コース番号：B...バスツアー G...葛城市主催ツアー K...上北山村主催ツアー